

平成29年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告書

平成30年5月
長井市（山形県）

〇計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成28年3月に認定を受けて以降、認定基本計画に基づき、「市民と観光客が集い 魅力あるまちづくり」「商業活動の活性化と多様な雇用の創出によるにぎわいあるまちづくり」「快適で安全に暮らせるまちづくり」といった3つの基本方針のもと、ハード事業及びソフト事業を含め、52事業に取り組んでいる。

進捗状況としては、7事業が完了し、35事業が着手・実施中、10事業が未実施となっている。

中心市街地の状況は、「観光交流センター整備事業」が完了、平成29年4月21日に開業し平成30年3月には来場者数50万人を超え予想を上回る賑わいをみせている。この観光交流センターは、当市の中心市街地活性化のステップである「人、モノ、情報をト・メ・る」の第1ステップが実現され、通過交通をまちなかへ誘導するための「まちの玄関口（交流拠点）」として「にぎわい創出」と「商業の活性化」に大きく寄与するものとして位置付けている。

このほか、まちなかの商店街エリアでは、民間まちづくり会社が街路整備事業に伴って実施する商業施設整備「本町テナント整備事業」が、平成30年3月に完成した。この施設は、幅広い世代が利用できるテナントスペースが整備されており「人、モノ、情報をト・メ・る」の第2ステップの実現をめざす。これにより、第1ステップの「まちの玄関口」である観光交流センターからまちなかへ誘導され、回遊の「まちの拠点」と地域コミュニティの憩いの場が生まれ商業の活性化が期待される。

しかし、「都市計画道路街路整備事業」及び「本町複合施設整備事業」を予定している地域において、唯一の食品スーパー「ヨークベニマル長井店」が撤退し、施設及び駐車場が現在、一時的に空き状態となっている。施設所有者において、食品系事業者と出店交渉している状況にある。その影響を受けてか、区域内における消費者の買い物動向が変化してきているものの、新たな創業等による市街地における空き店舗解消やにぎわい創出、経済の活性化に寄与する動きがでてきており、区域内全体として活性化に向けた機運が高まってきている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（単位：人）

（中心市街地区域）	平成27年度 （計画期間開始前年度）	平成29年度 （フォローアップ年度）
人口	4, 169	3, 996
人口増減数	△44	△145
社会増減数	△112	△11
転入者数	199	236

2. 平成29年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

認定基本計画の目標である「交流人口の拡大」については、「まちなか観光客数」において目標値を大幅に上回る実績が報告されたことにより、「まちなかのにぎわい創出」においても「歩行者通行量」及び「中心市街地における創業事業所数」の増加が期待できることから、概ね順調と評価する。

一方、長井市役所新庁舎の長井駅前移転が決まり、中心市街地活性化においては、駅前通りを核とする取り組みの重要性がさらに高まることが予想されるため、現在事業継続中である都市計画道路桐町成田線における本町街路事業の早期完成と、それに続く都市計画道路長井駅海田線における駅前街路事業の採択を強く要望するものである。

今後は特に、歩行者通行量を3年間で倍増させる高い目標値の達成に向けて、ハード事業の効果を高めるようなソフト事業同士の連携を強め、認定基本計画に掲げる諸事業が着実かつ速やかに展開されることを期待するものである。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
まちなかの にぎわい創出	歩行者通行量 (休日)	190人/日 (H26)	397人/日 (H32)	190人/日 (H29)	①	①
	中心市街地における 創業事業所数 (年間)	平均1.6件/年 (H22～26平均)	平均4.6件/年 (H28～32平均)	平均4.5件/年 (H28～29平均)	①	①
交流人口の 拡大	まちなか観光客数 (年間)	199,657人/年 (H24～26平均)	393,057人/年 (H32)	673,237人/年 (H29)	①	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成の見通しの理由

（1）まちなかのにぎわい創出

「歩行者通行量」及び「中心市街地における創業事業所数」については、概ね順調と思われる。

「歩行者通行量」については、主要事業である「観光交流センター」が平成29年3月に完成し、まちの玄関口として機能し微増につながった。今後は、従来のソフト事業を観光交流センター活用と連携した内容に充実させ、よりまちなか誘導と魅力発信を推進していくことでさらに増加するものと期待できる。また「中心市街地における創業事業所数」についても、昨年に引き続き堅調であり、今後もインキュベーション施設運営事業の拡充やビジネスコンテストの開催、起業創業補助金の拡充等により引き続き支援体制を充実させていく。

なお、公共複合施設整備事業において整備計画の遅れが生じたが、長井小学校第一校舎整備事業（平成31年3月完成、平成31年4月オープン）やけん玉のふる里プロジェクト事業を追加し平成30年3月に変更認定をいただき目標指数の達成は可能と見込んでいる。

（2）交流人口の拡大

「まちなか観光客数」については、主要事業である「観光交流センター」が平成29年3月に完成し、まちの玄関口としての役割と「観光地域づくりプラットフォーム」（※やまがた長井観光局の稼働）の確実な実施により、想定を大きく上回る状況となった。交流センター開業2年目以降は集客力の維持とまちなかへの回遊性を高めることで目標値を達成していけるものと見込んでいる。

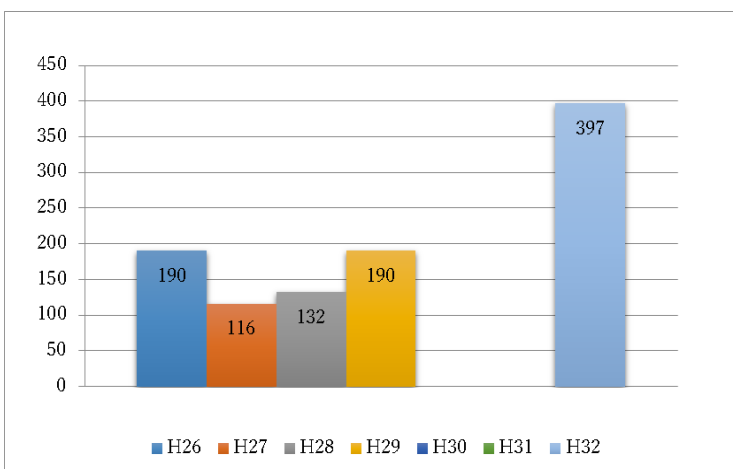
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回のフォローアップの実施から変更はない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者通行量（休日）」基本計画 P 6 7 ～ P 7 2 参照

●調査結果の推移



年	(人)	
H26	190	基準値
H27	116	
H28	132	
H29	190	最新値
H30		
H31		
H32	397	

- ◇調査方法：区域内 3 地点において 9 時から 1 9 時まで計測
- ◇調査月日：秋季（9 ～ 1 1 月）休日
- ◇調査対象：歩行者（※参考値として自動車、自転車も同時測定）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 観光交流センター整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 28 年度【済】
事業概要	国道 287 号沿線に休憩、情報、地域との関係機能を持ち、通年型観光及び本市の総合的な拠点施設の整備
事業効果及び進捗状況	平成 29 年 3 月に整備が完了し、平成 29 年 4 月 21 日開業。 まちの玄関口と「人、モノ、情報をトメる」役割を持ち、まちなか誘導及びにぎわい創出を図ることが期待できる。平成 29 年度入館者数 509,137 人。 本事業により、1 日あたり 65 人の休日歩行者通行量の増加を目指している。

②. 本町複合施設整備事業（俺たちの（株）楽街）

事業完了時期	平成 31 年度【未】
事業概要	本町中央十字路周辺にまちなかへの人の流れを生み出す役割を担う複合的な商業施設整備
事業効果及び進捗状況	事業は未着手のため効果が未定。現在、施設整備計画及び経営計画を策定中であり、平成 31 年度事業実施に向けて準備を進めている。 本事業により、1 日あたり 178 人の休日歩行者通行量の増加を目指している。

③. まち歩き観光事業（長井市観光協会）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	観光客及び市民のニーズに対応したまちなか観光を推進し、交流人口の拡大と中心市街地の活性化を図る
事業効果及び進捗状況	花観光の時期を中心に、やまがた長井観光局及び山形鉄道との連携などの取り組みにより 2,059 人（対前年比 106%）の実績をあげた。 歩行者通行量の指標として、平成 32 年までに年間 185.5 人（1 日あたり 0.5 人）の増加を目標としていたところ、基準とした平成 26 年度の 892 人に対し 2.31 倍、1,167 人増と目標を大きく超える実績となった。

④. 観光地域づくりプラットフォーム事業（長井市観光地域づくりプラットフォーム）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	市内の地域資源を活用した独自の旅行商品を企画・販売し、交流人口の拡大と賑わい創出を図る
事業効果及び進捗状況	平成 28 年 3 月に「やまがた長井観光局」として設立し、市内観光の窓口機能を一元化して積極的に観光客誘致に取り組んだ。平成 28 年度より開始したバス誘客助成事業や商品ラインナップの充実等の取り組みにより平成 29 年度は 12,188 名（対前年比 210%）の実績をあげた。 歩行者通行量の指標としている平成 29 年度の目標数 4,150 人（1 日あたり 11.37 人）に対し、目標を大きく超える実績となった。

⑤. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 33 年度【実施中】
事業概要	長井駅周辺における子育て支援機能及び図書館機能をもった複合型の施設を整備し、賑わい創出及び都市福利の向上を図る
事業効果及び進捗状況	国の補助事業の活用を予定しており、関連計画策定のため現段階で 1 年の遅れが生じている。平成 29 年度は市民検討委員会を設置し、施設に必要な機能等の協議を行った。平成 30 年度に施設の基本計画を策定し、平成 33 年度の完成を目指している。 本事業により、1 日あたり 24.9 人の休日歩行者通行量の増加を目指している。 しかし、完成が平成 33 年度となるため計画期間内には効果が表れないところであるが、「長井小学校第一校舎整備事業」により中心市街地の賑わい創出が図られることから、目標達成は可能と見込んでいる。

⑥. 【平成 29 年度追加】長井小学校第一校舎整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	国登録有形文化財である長井小学校第一校舎をまなびと交流の拠点施設としてリノベーションするもの。キャリア教育や歴史文化の展示、飲食機能を併せ持つ世代間交流の場として活用し、中心市街地のにぎわい創出と都市福利の環境向上を図る
事業効果及び進捗状況	交流の軸であるフラワー長井線長井駅と国道沿いの観光交流センターをつなぐ通りの導線上に、長井小学校旧第一校舎を活用した集客施設を配置することにより中心市街地との回遊性の高まりが期待される。整備計画が、平成 28 年度に内閣府の地方創生拠点整備交付金の対象事業として決定しており、文化庁補助金（登録有形文化財建造物修理事業費補助金）及び地域活性化事業債も活用しながら整備を進めていく。平成 29 年度は主に免震工事を実施し、平成 31 年度の施設オープンに向けて順調に進捗している。 なお、公共複合施設整備事業で見込んでいる 1 日あたり 24.9 人の休日歩行者通行量の増加を、本事業にて補う予定である。

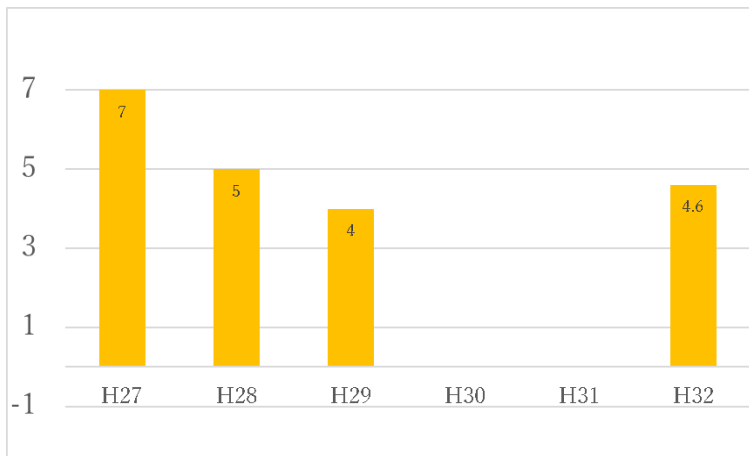
●目標達成の見通し及び今後の対策

基準とした平成26年度以降、減数となっていた歩行者通行量は平成29年度の調査結果では回復となった。平成29年4月にオープンした観光交流センターが中心市街地区域に賑わいを創出する集客拠点として機能し、同施設内のやまがた長井観光局との連携により、まち歩き等の観光客が増加したものとする。今後本町に整備予定の民間による複合施設や観光局事業の充実により観光交流センターからの人の流れを生み出すことで、目標数値の達成は可能と考える。

なお、公共複合施設整備事業において1年間の整備計画の遅れが生じており、期間内に効果が表れないが、国登録有形文化財である「長井小学校第一校舎」をまなびと交流の拠点施設としてリノベーションする事業を進めており、平成30年3月に基本計画の変更認定を受けたところである。当該施設は中心市街地活性化を目的に整備されるものであり、観光交流センターと連携した観光交流促進拠点としての機能や市民の多様な交流活動の場、飲食スペースを持たせた憩いの場としての活用等様々な機能を持つまちなか誘導の拠点としてにぎわい創出が図られることが期待されることから、目標指数の達成は可能と見込んでいる。

「中心市街地における創業事業所数（年間）」基本計画P73～P75

●調査結果の推移



年	(件)
H22-26	1.6 基準値(平均)
H27	7
H28	5
H29	4 最新値
H30	
H31	
H32	4.6 目標値(平均)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 起業・創業支援事業（長井市）

事業完了時期	平成28年度～【実施中】
事業概要	市内の空き店舗等を活用して新規で創業を希望する個人や法人等に対して支援し、商業・サービス業を中心とする産業の振興及び中心市街地の活性化を図る
事業効果及び進捗状況	長井市全体では平成29年度6件が新規で創業し、うち4件が中心市街地区域内であり空き店舗等の解消に寄与した。 起業支援のほか、商工会議所と連携し、長期的な経営支援にも取り組んでいく。

②. 本町テナント整備事業（俺たちの（株）楽街）

事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	本町大通り商店街エリアにおいてオフィスや飲食店などの複合的な施設を民間まちづくり会社が整備し、商店街の振興と賑わい創出を図る
事業効果及び進捗状況	経済産業省の「平成29年度地域・まちなか商業活性化支援事業」の採択を受けて事業を実施しており、平成30年3月に施設が完成しテナント募集を開始した。 本事業により、3件の創業事業所数の増加を目指している。

③. 本町複合施設整備事業（俺たちの（株）楽街）

事業完了時期	平成 31 年度【未】
事業概要	本町中央十字路周辺にまちなかへの人の流れを生み出す役割を担う複合的な商業施設整備
事業効果及び進捗状況	事業は未着手のため効果が未定。現在、施設整備計画及び経営計画を策定中であり、平成 31 年度事業実施に向けて準備を進めている。 本事業により、7 件の創業事業所数の増加を目指している。

④. 公共複合施設整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 33 年度【未】
事業概要	長井駅周辺における子育て支援機能及び図書館機能をもった複合型の施設を整備し、賑わい創出及び都市福利の向上を図る
事業効果及び進捗状況	国の補助事業の活用を予定しており、関連計画策定のため現段階で 1 年の遅れが生じている。平成 30 年度に施設の基本計画を策定し、平成 33 年度の完成を目指している。 本事業により、3 件の創業事業所数の増加を目指している。 しかし、完成が平成 33 年度となるため計画期間内には効果が表れないところであるが、「長井小学校第一校舎整備事業」により飲食店舗の誘致や貸事務所活用により新規出店が促され、目標達成は可能と見込んでいる。

⑤. 【平成 29 年度追加】長井小学校第一校舎整備事業（長井市）

事業完了時期	平成 30 年度【実施中】
事業概要	国登録有形文化財である長井小学校第一校舎をまなびと交流の拠点施設としてリノベーションするもの。キャリア教育や歴史文化の展示、飲食機能を併せ持つ世代間交流の場として活用し、中心市街地のにぎわい創出と都市福利の環境向上を図る。
事業効果及び進捗状況	長井小学校旧第一校舎整備事業は、校舎の一部に飲食スペースや民間事業者が利用できる貸事務所を配置する予定であり、飲食店舗の誘致や貸事務所活用により新規の出店を促す。整備計画が、平成 28 年度に内閣府の地方創生拠点整備交付金の対象事業として決定した。また、文化庁補助金（登録有形文化財建造物修理事業費補助金）及び地域活性化事業債も活用しながら整備を進めていく。平成 29 年度は主に免震工事を実施し、順調に進捗している。

⑥. その他創業支援につながる事業（長井市）

事業完了時期	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	商店街組織やまちづくり団体等が賑わい創出及びサービス向上に寄与する取り組みに対して支援しているもの
事業効果及び進捗状況	団体等（交付団体：6 団体）が自ら取り組み、市民を中心としたターゲットを集客し、まちなかへの誘客と商店街の活性化に寄与した。 まちなかの賑わい創出と商業機能の向上が図られることにより、中心市街地における新規創業が後押しされることを期待する。

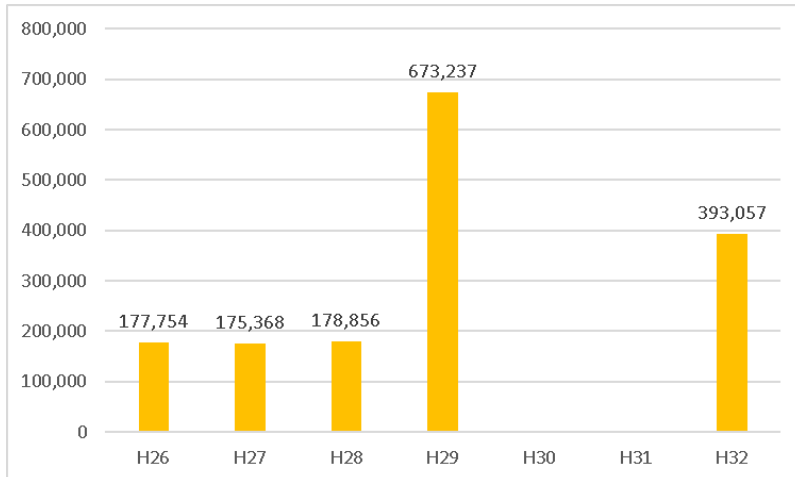
●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地における新規創業事業所数については、前年度を下回ったものの、目標値は5年間の平均値としており「起業・創業支援事業」の継続、本町テナント事業完了による新規創業も期待されるため目標は達成可能と考えている。引き続き関係団体と連携し、支援体制を充実させていく。

なお、公共複合施設整備事業において1年間の整備計画の遅れが生じており、期間内に効果が表れないが、まなびと交流の拠点施設としてリノベーションする「長井小学校第一校舎」の教室の一部を、起業家等に向けたレンタルオフィスとして活用する予定であり、目標指数の達成は可能と見込んでいる。

「まちなか観光客数（年間）」基本計画P75～P78

●調査結果の推移



年度	(人)	
H24-26	199,657	基準値(平均)
H26	177,754	
H27	175,368	
H28	178,856	
H29	673,237	最新値
H30		
H31		
H32	393,057	目標値

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 観光交流センター整備事業（長井市）

事業完了時期	平成28年度【済】
事業概要	国道287号沿線に休憩、情報、地域との関係機能を持ち、通年型観光及び本市の総合的な拠点施設の整備
事業効果及び進捗状況	平成29年3月に整備が完了し、平成29年4月21日開業。 市の観光振興全体の要となる重要な施設として、まちの玄関口と「人、モノ、情報をトメる」役割を持ち、まちなか誘導及びにぎわい創出を図り、まちなか観光客数の増加にも大きく寄与することが期待される。平成29年度入館者数は509,137人。 本事業により、平成32年度までに185,000人のまちなか観光客数の増加を目指している。

②. 観光地域づくりプラットフォーム事業（長井市観光地域づくりプラットフォーム）

事業完了時期	平成28年度～【実施中】
事業概要	市内の地域資源を活用した独自の旅行商品を企画・販売し、交流人口の拡大と賑わい創出を図る
事業効果及び進捗状況	平成28年3月に「やまがた長井観光局」として設立し、市内観光の窓口機能を一元化して積極的に観光客誘致に取り組んだ。平成28年度より開始したバス誘客助成事業や商品ラインナップの充実等の取り組みにより平成29年度は12,188名（対前年比210%）の実績をあげた。 本事業により、平成32年度までに8,400人のまちなか観光客数の増加を目指しており、平成29年度は4,150人を目標値としていたが、2.85倍と目標を大きく超える実績となった。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年3月に完成した観光交流センターがまちの玄関口として機能し、「観光地域づくりプラットフォーム」(※やまがた長井観光局の稼働)の確実な実施により、観光交流センターから中心市街地へ人の流れを創り、まちなかでの滞在を促進することで今後まちなか観光客数はますます増加するものと期待できる。

今後は各事業が個々に取り組むのではなく、観光交流センターや本町テナント施設等の各拠点を利用したソフト事業の実施や、行政や観光局、民間事業者等の事業者間での相乗効果を生み出す取り組みに繋がるよう事業を進めていく。